

Cisco Video Surveillance Manager サーバの ActiveX で問題を解決するために DebugView 出力を集めて下さい

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[望ましいログ ファイルを集める DebugView の使用](#)

[ステップ 1.ブラウザ、ビデオアプリケーションおよび他の主要なアプリケーションのすべての例を閉じて下さい](#)

[ステップ 2.デバッグツールを起動させて下さい](#)

[ステップ 3.見られる問題を再現して下さい](#)

[ステップ 4.出力を保存して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco Video Surveillance Manager サーバの ActiveX クライアントによって基づく問題を解決するのに DebugView ユーティリティを使用する方法を記述されています。

前提条件

要件

Cisco はシステムでダウンロードされる DebugView アプリケーションがあることを推奨します。

注: 参照ダウンロード リンクはこの資料の下部ので利用できます。

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報は Cisco ビデオ サーベイランス Media Server 6.x/7.x に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

望ましいログ ファイルを集める DebugView の使用

DebugView 出力は ActiveX クライアントのためのログ ファイルとして検討することができます。

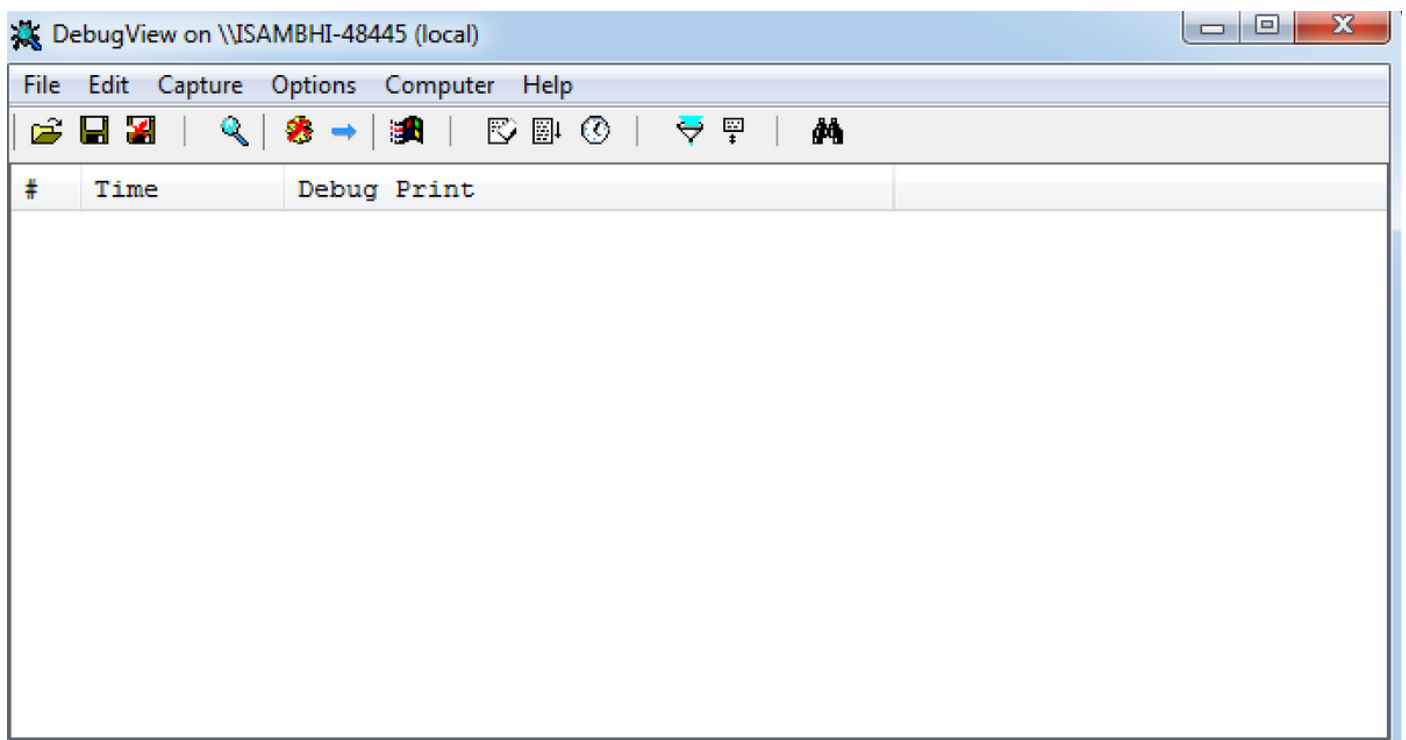
この資料はこの 4 つのステップでツールを使用するためにプロセスを説明したものです:

ステップ 1.ブラウザ、ビデオアプリケーションおよび他の主要なアプリケーションのすべての例を閉じて下さい

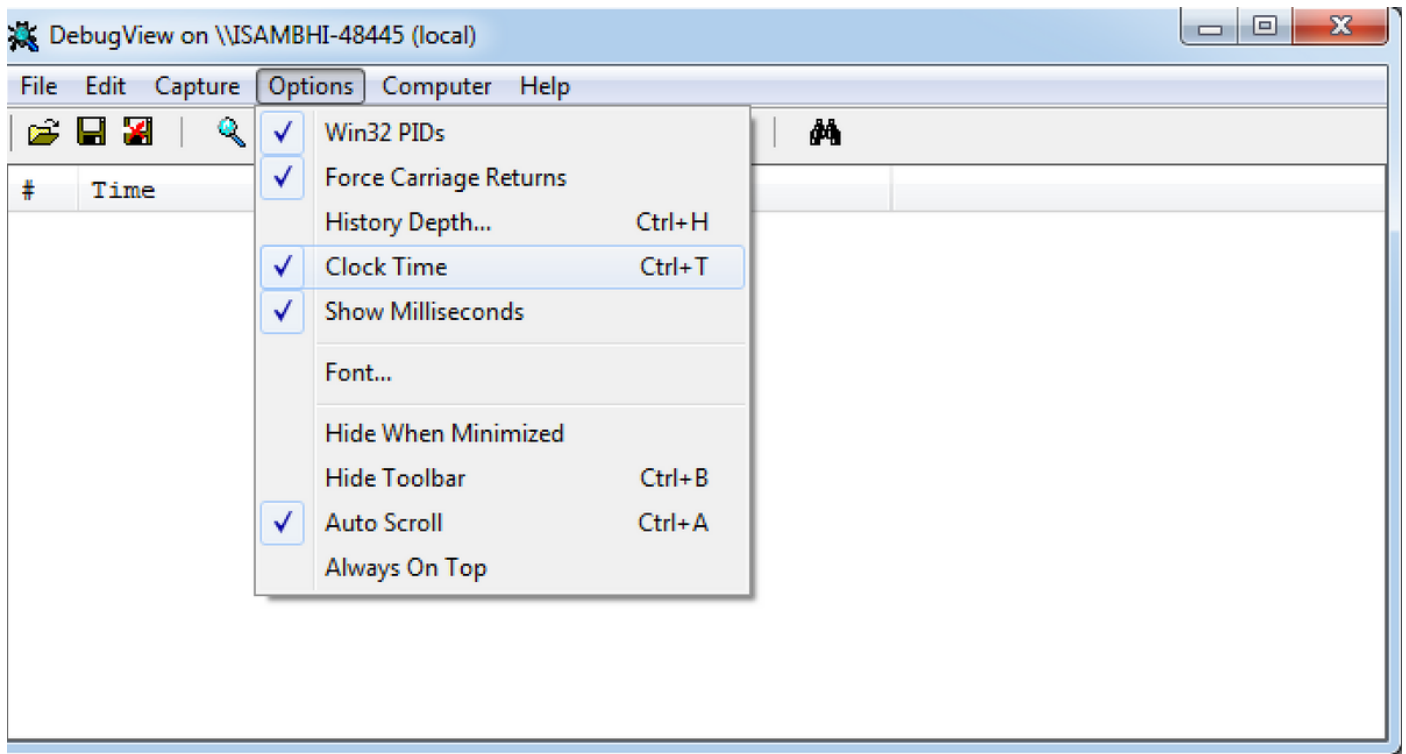
開いた余分アプリケーションがある場合それは余分望ましくないログ出力を生成します、それ故にツールを実行する前にすべての不必要なアプリケーションを閉じてもらうことを推奨します。

ステップ 2.デバッグツールを起動させて下さい

DebugView アプリケーションを解凍し、起動させて下さい。

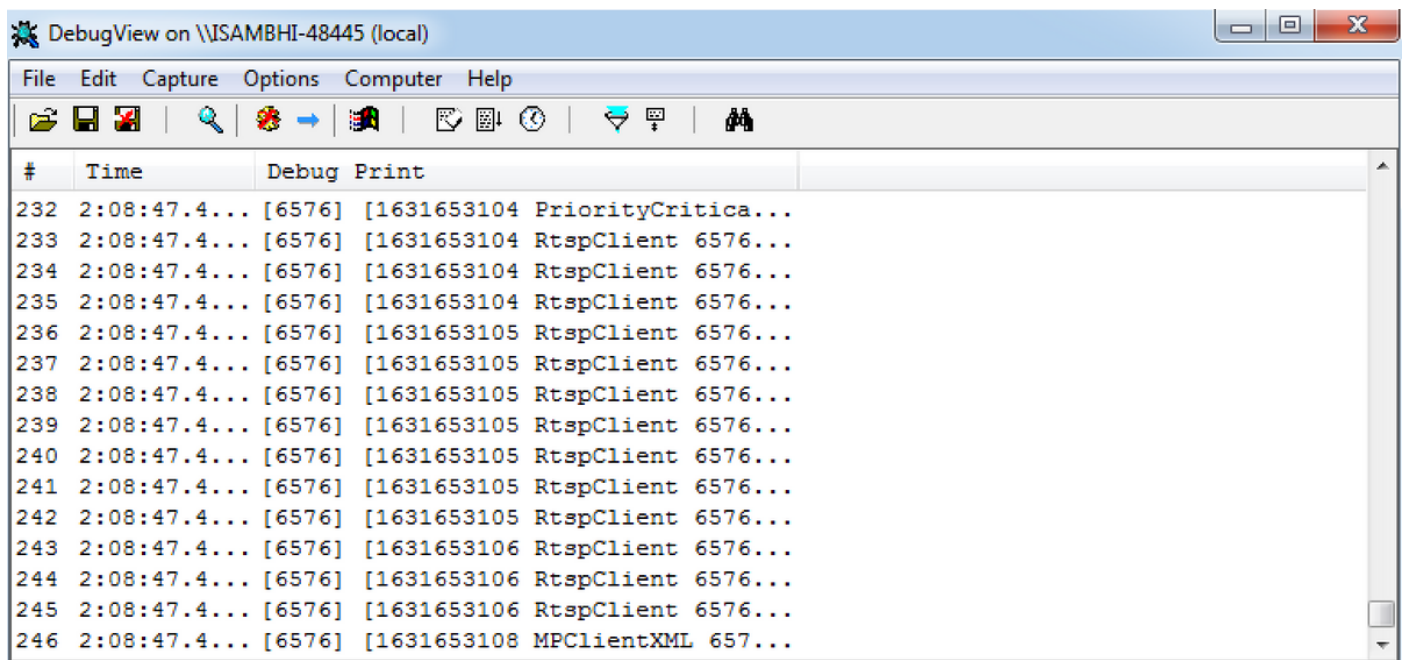


オプションを『Options』 をクリックし、時刻を有効にし、ミリ秒を示すために探して下さい。



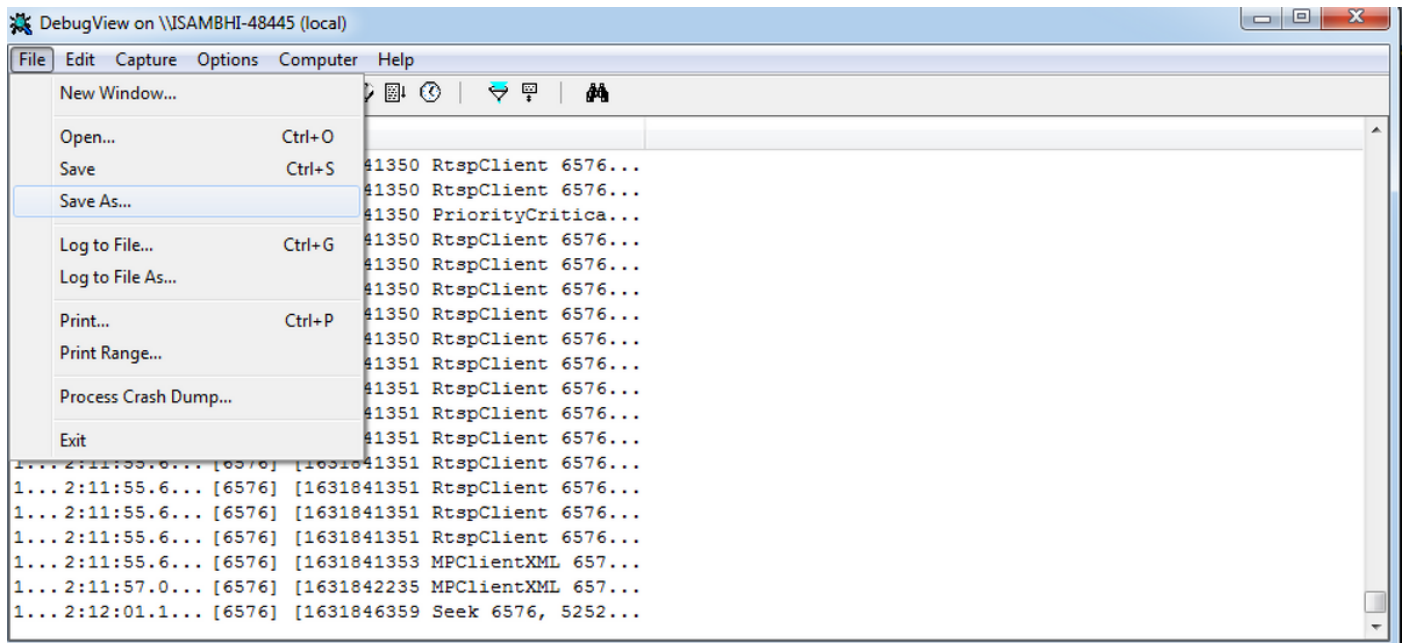
ステップ 3.見られる問題を再現して下さい

問題を再現する場合、DebugView アプリケーションの出力が表示されます。デバッグツールは多くのレコードを記録します。



ステップ 4.出力を保存して下さい

ように File > Save の順にクリックし、望ましい位置で出力を保存して下さい。



関連情報

- ログが Cisco TAC エンジニアによって要求された場合、ここに説明されているメソッドの 1 つの使用の TAC ケースにアップロードすることができます
: <http://www.cisco.com/c/en/us/about/security-center/tac-customer-file-uploads.html>
- DebugView アプリケーション ダウンロード リンク: <https://technet.microsoft.com/en-us/sysinternals/debugview.aspx>
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)